

第6次国有林野施業実施計画書

(下越森林計画区)

計画期間
自 令和2年4月1日
至 令和7年3月31日

関東森林管理局

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	3
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	5
3	林道等の整備に関する事項	6
4	治山に関する事項	9
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	11
(1)	保護林の名称及び区域	11
(2)	緑の回廊の名称及び区域	15
6	レクリエーションの森の名称及び区域	16
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	24
8	その他必要な事項	24
(1)	施業指標林、試験地等	24
(2)	フィールドの提供	25
(3)	森林共同施業団地	25
(4)	その他	26
附属参考資料		
(1)	国有林野の現況	27
(2)	機能類型別の国有林野の現況	30
(3)	林道等の現況	31
(4)	収穫予想表	31
(5)	地元施設等の現況	31

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域については、別添国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称及び区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、別冊「伐採造林計画簿」に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：面積 ha、伐期齢 年)

施業群	細分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年
通常伐期	スギ分散伐区	4,344.11	森林の管理経営の指針による	55
	ヒノキ分散伐区	24.70	〃	60
	アカマツ分散伐区	473.75	〃	55
長伐期	スギ長伐期	3,878.82	〃	100
	アカマツ長伐期	156.12	〃	80
複層林	スギ複層林	1,214.65	〃	55～110
	その他複層林	37.07	〃	55～110
天然林・その他	ぼう芽分散伐区	275.91	〃	25
	天然生アカマツ分散伐区	375.57	〃	55
	択伐	23,486.52	〃	回帰年は定めない
	その他	56.49	〃	定めない
設定外(注1)		540.38		定めない
合計		34,864.09		

(注) 1. 施業群設定外は分収林、更新困難地等の特定の施業方法を設定することが適当でない林地とする。

2. 面積は林地面積を計上している。

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	上限伐採面積	備考
通常伐期	440	スギ分散伐区 (395) ヒノキ分散伐区 (2) アカマツ分散伐区 (43)
長伐期	204	スギ長伐期 (194) アカマツ長伐期 (10)
複層林	113	スギ複層林 (110) その他複層林 (3)
天然林・その他	2,444	ぼう芽分散伐区 (55) 天然生アカマツ分散伐区 (34) 択伐 (2,349) その他 (6)
合計	3,201	

(注) 備考欄は、施業群の細分で () は細分個々の上限伐採面積である。

(4) 伐採総量

(単位：m³)

区 分		林 地				林 地 以 外	合 計	
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量			計
山地災害防止タイプ		204	1,000 (16.02)	1,204				
自然維持タイプ		—	—	—				
森林空間利用タイプ		—	4,526 (55.78)	4,526				
快適環境形成タイプ		—	—	—				
水 源 かん 涵 養 タ イ プ	通常 伐 期	スギ分散伐区	68,488	76,700	145,188			
		ヒノキ分散伐区	—	177	177			
		アカマツ分散伐区	—	2,233	2,233			
	長 伐 期	スギ長伐期	756	90,418	91,174			
		アカマツ長伐期	—	802	802			
	複 層 林	スギ複層林	2,663	15,137	17,800			
		その他複層林	1,965	—	1,965			
	天 然 林 ・ そ の 他	ぼう芽分散伐区	—	—	—			
		天然生アカマツ 分散伐区	—	277	277			
		択 伐	1,383	1,840	3,223			
		そ の 他	—	378	378			
	設 定 外		36,092	4,075	40,167			
	計		111,347	192,037 (2,575.40)	303,384			
	合 計		111,551	197,563 (2,647.20)	309,114	37,000	346,114	—
年 平 均		22,310	39,513 (529.44)	61,823	7,400	69,223	—	69,223

(注) () は、間伐面積(ha)である。

(再 掲) 市町村別内訳

(単位：㎡)

市 町 村 名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量 計		
新 発 田 市	15,802	36,521	52,323			
五 泉 市	739	2,102	2,841			
阿 賀 野 市	1,357	4,095	5,452			
胎 内 市	5,908	3,335	9,243			
阿 賀 町	40,709	33,017	73,726			
村 上 市	33,956	72,177	106,133			
関 川 村	13,080	46,316	59,396			
合 計	111,551	197,563	309,114			

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工 造林	単層林造成	—	—	—	—	241.60	241.60
	複層林造成	—	—	—	—	1.66	1.66
	計	—	—	—	—	243.26	243.26
天然 更新	天然下種第1類	—	—	—	—	—	—
	天然下種第2類	—	—	—	—	—	—
	ぼう芽	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	—	—	—
合 計		—	—	—	—	243.26	243.26

(6) 保育総量

(単位：ha)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下刈	—	—	5.43	—	617.68	623.11
	つる切	—	—	7.94	0.88	33.85	42.67
	除伐	—	—	6.74	0.88	67.11	74.73

3 林道等の整備に関する事項

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
基幹	改良	羽黒	10外	54	
		楡形(関沢)	14	62	
		石川	52外	79	
		楡形(楡形)	17外	222	
		楡形(小国谷)	14外	77	
		板山	76外	107	
		津川赤谷(鳥越)	101外	166	
		赤谷	88外	253	
		五頭山北部(折居)	105外	40	
		五頭山北部(赤倉)	106外	28	
		五頭山北部(割石)	111外	121	
		五頭山中ノ沢(内山)	120	60	
		五頭山北部(りつ沢)	105	95	
		津川赤谷(新谷川支線)	216外	183	
		土倉	221外	172	
		五頭山中ノ沢(中ノ沢)	210外	124	
		五頭山中ノ沢(五頭山)	206	34	
		津川赤谷(土倉支線)	223外	127	
		津川赤谷(諏訪峠)	226外	148	
		津川赤谷(土倉)	215外	15	
		津川赤谷(新谷川)	214外	42	
		五頭山中ノ沢(戸沢)	206外	44	
		津川赤谷(松野沢)	225	42	
		大倉	260外	112	
		馬取川	251外	131	
	小計	25路線		2,538	
その他	開設	高地沢(林業専用道)	204	3,000	
		土倉分線(林業専用道)	224	1,500	
		鹿ノ又沢支線(林業専用道)	219	4,000	
		寺内(林業専用道)	48外	800	
		内山(林業専用道)	120	300	
		小鱒谷支線(林業専用道)	201	2,200	
		土倉第2分線(林業専用道)	221外	2,200	
		二王子(林業専用道)	69外	2,000	

基幹・ その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	開設	館腰(林業専用道)	1033外	2,540	(格上)
		丸山(林業専用道)	1390外	2,235	(格上) 520m
		丸山支線(林業専用道)	1390	720	(格上) 300m
		新屋(笹平)2号線(林業専用道)	1041	540	(格上)
		新屋(笹平)3号線(林業専用道)	1041	755	
		菅沼(林業専用道)	1004	580	(格上)
		田麦(林業専用道)	1371外	1,000	
		上山田第2支線(林業専用道)	1021外	1,300	
	小計	16路線		25,670	(格上) 4,480m
	改良	坪穴	5	45	
		中砥沢	8	17	
		羽黒支線	10	29	
		半山	12	11	
		飯角	12外	120	
		寺内	48外	151	
		熊出	46外	87	
		小出	50外	37	
		北の入	52	48	
		水谷	59外	130	
		田貝	68外	155	
		南俣	72	40	
		南俣支線	70外	68	
		高知山	73外	130	
		坂ノ沢	61外	58	
		勝屋	111	16	
		折居	106	25	
		折居支線	105外	45	
		三五郎山	287外	75	
		三五郎山支線	289	27	
神戸川		321	14		
新谷川	214外	23			
五頭山	206	8			
諏訪峠支線	227	63			
高地沢	204	30			

基幹・ その他別	開設 ・ 改良	路線名	箇所 (林班)	延長 (m)	備考
その他	改良	人品頭山	214	43	
		小鱒谷沢	202外	88	
		清水小屋	212	10	
		小鱒谷沢支線	201外	32	
		諏訪峠第二支線	226外	59	
		勝屋支線(林業専用道)	111	11	
		大平(林業専用道)	61	15	
		戸屋沢(林業専用道)	258	20	
		高地沢(林業専用道)	204	20	
		下小揚	1049	25	
		下山田	1032	560	
		小綱木林道名倉支線	1351外	30	
		小綱木	1349外	199	
		新屋(笹平)3号線(林業専用道)	1041	20	
		西山	1370	15	
		野田沢	1409	20	
		大石林道中の沢支線	1336	36	
		上山田支線	1022外	20	
		高根鈴川(高根鈴川)	1132外	3,100	
		三面支線	1068外	3,100	
		三面(未沢)	1071外	70	
		南大平	1413	12	
		釜杭	1036外	8	
		女川	1377外	56	
	小計	49路線		9,021	
計	開設	16路線		25,670	(格上) 4,480m
	改良	74路線		11,559	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

4 治山に関する事項

位 置 (林 班)	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
15、16、17、20、21、22、24、 46、47、48、49、50、52、58、 59、61、65、66、73、75、76、 78、79、102、103	新 発 田 市	保安林の整備	本数調整伐 そ の 他	2, 123ha
288、289	五 泉 市			
11、12、13、14、25	胎 内 市			
105、106、117、121	阿 賀 野 市			
202、203、204、207、208、 210、211、212、215、223、 224、225、226、227、239、 250、253、257、258	阿 賀 町			
1005、1009、1010、1023、 1025、1059、1124、1125、 1127、1128、1129、1130、 1131、1132、1133、1136、 1137、1138、1140、1146、 1149、1150、1214、1215、 1216、1235、1236、1306、 1412、1413、1414、1415、 1416	村 上 市			
1313、1315、1333、1334、 1335、1336、1337、1341、 1349、1350、1351、1352、 1353、1359、1370、1371、 1372、1373、1374、1377、 1378、1381、1389、1390、 1391、1392、1393、1395、 1397、1425	関 川 村			
102、103	新 発 田 市	保 安 施 設	溪 間 工	3 箇所
289、321	五 泉 市		溪 間 工	7 箇所

位 置 (林 班)	市 町 村	区 分	工 種	計 画 量
10、11、12	胎 内 市	保 安 施 設	溪 間 工	4 箇所
117	阿 賀 野 市		溪 間 工	2 箇所
1006、1007、1012、1021、 1022、1037、1038、1048、 1053、1126、1127、1131、 1136、1137、1138、1139、 1140、1146、1150、1230、 1304、1307、1366、1409	村 上 市		溪 間 工 山 腹 工 そ の 他	42箇所 1 箇所 1 箇所
1308、1315、1317、1333、 1351、1369、1370、1389、 1397、1398、1400、1402、 1425	関 川 村		溪 間 工	35箇所
1415	村 上 市	防 災 林 造 成	防 潮 護 岸 工	1 箇所
1349、1368、1369	関 川 村	地 す べ り 防 止	地 下 水 排 除 工	3 箇所
合 計		保 安 林 の 整 備		2, 123ha
		保 安 施 設		95箇所
		防 災 林 造 成		1 箇所
		地 す べ り 防 止		3 箇所

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できるものとする。

5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

原生的な森林生態系からなる自然環境、地域固有の生物群集を有する森林及び希少な野生生物の生育・生息に必要な森林の保護・管理を目的として、当計画区では下記のとおり保護林を再編し、貴重な天然林等の自然環境維持に配慮しながら適切に保護・管理を図っていくこととする。

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
森林生態系 保護地域	朝 日 山 地	21,718.77		日本海側気候に属する隆起山地であり、この地域の主要部分は、人為の介入がほとんどなく、国内最大規模のブナ林等の原生的な自然状態が維持されている。また、低地から高山帯までの広範な植生帯が存在し、亜高山帯針葉樹林を欠き低木林が発達する豪雪地帯特有の植生が見られるなど、変化に富んだ種々の生態系が展開し、多様な動植物が生息・生育している地域である。	
		保存地区 (12,293.12)	1075～1076 全 1088 全 1091～1095 全 1098～1102 全 1104～1107 全 1108 い 1109～1121 全 1187～1191 全 1198～1203 全 1209～1213 全		
		保全利用地区 (9,425.65)	1074 全 1086～1087 全 1089～1089-1 全 1090 全 1096～1097 全 1103 全 1108 イ 1155～1160 全 1163 い、ろ 1164 ろ、イ 1165 ほ、イ ₂ 、イ ₃ 1166 い ₁ 、ろ、は 1167 い～と 1168～1170 全 1171 い～に ₂ 1172 い～ほ 1173 い～は 1174 い、ろ、 に ₁ ～に ₅ 1175 い、は～イ ₃ 1176 い 1177 全 1178 い ₁ 、ろ～と ₃ 1179～1185 全 1186 い～は 1192 い、は ₁ ～は ₅ 1193～1195 全 1196 い～に ₄ 1197 全 1206～1208 全		

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
森林生態系 保護地域	飯豊山周辺	15,287.05		新潟県、福島県、山形 県境の飯豊山周辺に位 置し、日本海側気候区 の豪雪地帯における典 型的な天然林が分布し ている。山地帯はブナ 林が広がり、亜高山帯 は主にダケカンバ群落 により構成されてい る。また、環境圧のよ り厳しい場所には、ウ ラジロヨウラクやミヤ マナラが土地的・気候 的極相として成立し、 動物相も豊かで猛禽類 の生息も多く確認され ている地域である。	
		保存地区 (7,138.33)	93 は、ハ ₁ 、ハ ₂ 94 い〜ろ ₂ 、 ロ ₁ 〜ロ ₁₃ 、 ロ ₁₅ 〜ハ ₃ 95 た〜そ、 イ ₁₁ 〜イ ₁₃ 234 ろ〜り、イ ₂ 、 イ ₄ 、イ ₅ 235 全 242 へ、と、 ち ₂ 〜ぬ、イ ₄ 、 イ ₆ 〜イ ₈ 243 い ₁ 〜そ、 つ ₂ 、つ ₄ 〜ね、 ロ ₁ 〜ロ ₇		
		保全利用地区 (8,148.72)	33 ろ ₄ 〜は ₄ ほ ₁ 〜り ₅ 、 ぬ ₂ 、 る ₄ 〜る ₁₁ 、 イ ₁ 〜イ ₃ ロ ₃ 〜ロ ₅ 、 ハ ₃ 〜ハ ₁₉ 、 ニ ₁ 〜ホ ₆ 93 い、ろ、 イ〜ロ ₂ 94 イ ₁ 、イ ₂ 、 ロ ₁₄ 、ハ ₄ 95 ち〜よ、 イ ₂ 〜イ ₁₀ 233 は〜ち、 イ ₃ 〜イ ₅ 234 い、イ ₁ 、イ ₃ 236 全 241 ほ ₂ 〜ち、ロ 242 い〜ほ、ち ₁ 、 イ ₁ 〜イ ₃ 、 イ ₅ 、ロ 243 つ ₁ 、つ ₃ 、 イ ₁ 〜イ ₃ 、 ロ ₈ 〜ロ ₁₀ 244 全 1345 ろ 1417 ロ ₁ 〜ロ ₃		
計	2箇所	37,005.82			

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
生物群集 保 護 林	越 後 山 脈	保存地区 2,008.53	273- I め ₃ 、 わ～ね、 イ ₃ 、イ ₄ 276 全 277 い～な ₅ 278 い ₁ ～ロ 279 い～へ ₂ 、 と ₁ ～わ	越後山脈に属する御神楽岳、本名御神楽岳、笠倉山及び日尊倉山周辺に位置し、ブナ林、サワグルミ・トチノキ林、スギ天然林及びミヤマナラ林等の天然林で構成され、日本海側多雪地帯の森林群落が大規模に保存されている地域固有の生物群集を有する森林である。	
計	1箇所	2,008.53			
希少個体群 保 護 林	赤谷山スギ 遺 伝 資 源	10.77	102 き、ゆ	林業種苗法に基づく特別母樹・特別母樹林に指定されており、多雪・岩角地域において良好に生育する通称赤谷スギと呼ばれる天スギ林の群落である。	
	目 指 岳 コウヤマキ 遺 伝 資 源	10.33	256 イ ₄	雪崩地形の細尾根という天然分布の北限で、かつ特殊な立地に生育するコウヤマキの群落である。	
	大 久 蔵 トチノキ 遺 伝 資 源	8.83	280 ろ	中齢から高齢級のブナが優占し、裏日本型東北・北海道型のトチノキが混生する貴重な生育地である。	
	俎倉山スギ	143.95	100 は～ほ	高齢級の天然スギとミヤマナラ等の広葉樹が混生した群落である。	
	白山ケヤキ 遺 伝 資 源	6.53	322 る～わ ₂	急傾斜岩角地という特殊な立地に生育している、裏日本型東北・北海道型のケヤキの群落である。	
	猿ケ城岩 オオフジシダ	8.12	53 わ ₃ 57 い ₃	天然分布の北限に生育するオオフジシダ、コバノイシカグマ、ウスヒメワラビなど、北地では希少なシダが生育する群生地である。	
計	6箇所	188.53			

区 分	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
合 計	9箇所	39,202.88			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の保護林の面積は、保護林から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

(2) 緑の回廊の名称及び区域

緑の回廊は、より広範で効果的な森林生態系の保護・保全に努めるため野生動植物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すことが適当と認められる国有林野を選定することとして、下記のとおり設定する。

名 称	延 長 (km)	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	備 考
緑の回廊 越後線	20.5	3,476.44	265 全 266 全 267 い～ほ ₁ 、へ、 イ ₂ 270 全 271 全 280 い、は ₁ ～イ ₄ 281 全 282 全	「越後山脈森林生物遺伝資源保存林」と「笠堀カモシカ特定動物生息地保護林」を結ぶ新潟県と福島県の県境となっている越後山脈沿いに設定している。	
鳥海朝日・ 飯豊吾妻 緑の回廊	46.0	6,697.81	1015 全 1017 全 1019 に、イ 1027 全 1040 は、に 1046 全 1047 全 1066 全 1067 い～と、 ロ ₁ ～ロ ₄ 1068 全 1069 全 1070 全 1071 全 1072 全 1073 全 1340 全 1341 い、ろ、イ ₁ 1342 全 1343 全 1344 い 1345 い 1357 全 1358 い～よ、 イ ₁ ～イ ₄ 1359 る ₁ ～た、 イ ₃ 、イ ₄ 1360 全 1361 全 1407 い～る、ロ 1408 全 1417 イ ₁ ～イ ₃ 1418 全 1420 ほ～ち 1421 全 1423 全 1425 全	「朝日山地森林生態系保護地域」と「飯豊山周辺森林生態系保護地域」を結ぶ新潟県と山形県の県境となっている朝日山地から飯豊山沿いに設定している。	
合 計	66.5	10,174.25			

(注) 面積欄は、設定区域の全体面積を計上しているが、実際の緑の回廊の面積は、緑の回廊から除外すべき区域（貸付地等）を除外した面積である。

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	五頭	1,849.95	116 い 117 ろ	五頭連峰の菱ヶ岳、五頭山、松平山に至る稜線をはさんだ両側に位置し、山腹から稜線付近は、ブナ、ミズナラ、シデ等の原生的な天然生林、中腹以下は、ナラ類やカエデ類等の広葉樹二次林が多く、優れた自然景観を呈しており自然観察、探勝等に利用されている。 山麓には、キャンプ場等が設置されており、キャンプ、登山、ハイキング等野外スポーツの場として利用され、地元はもとより県北部の象徴的な森林となっている。	育成単層林へ導くための施業（以下、育成単層林施業という。） 育成複層林へ導くための施業（以下、育成複層林施業という。） 間伐面積 31.16ha	整備されている代表的な施設は以下のとおり 実施主体：国 ・野営場 ・避難小屋 実施主体：新潟県 ・歩道 ・園地 ・野営場 実施主体：阿賀野市 ・歩道 ・園地 ・野営場 実施主体：阿賀町 ・歩道	国が実施する施設整備の計画なし	
		森林スポーツゾーン 512.07	113 い、は ₁ ～に、へ～り、 ろ ₁ ～か ₂ 、よ、た、そ 116 ろ～と、ぬ～る ₂ 、か～れ 117 は ₁ ～ほ ₁ 、ち、り、る ₁ わ ₁ 、わ ₂ 、よ、た、ね、な ₃ 119 と ₂ 120 い ₁ ～い ₃ 、ろ ₁ ～ろ ₁₀ 、 ろ ₁₂ 、は 206 ろ、に ₂ 、ち ₃ 、ち ₄					
		1,160.43	113 ろ、ほ、ぬ、か ₃ 、れ、 つ～う 114 い ₁ ～ほ 115 い ₁ ～ほ 116 ち～り ₂ 、わ、そ～う ₂ 117 い ₁ 、い ₂ 、ほ ₂ ～と、ぬ る ₂ 、か、れ ₁ ～つ、な ₁ な ₂ 、な ₄ ～な ₇ 118 い ₁ ～る ₂ 119 い～と ₁ 120 い ₄ 、い ₅ 、ろ ₁₁ 、ろ ₁₃ 204 く ₁ 、く ₂ 205 い 206 い、は ₁ 、は ₂ 、ほ～と ₂ ち ₂ 、ち ₅ 、ち ₆ 、ぬ ₁ 、ぬ ₂ 207 ほ ₂ 208 へ ₂ 、と ₂ 209 へ ₂ 、と ₂					
			113 イ		林地以外			

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然休養林	五頭		115 イ 116 イ～ロ ₂ 117 イ ₁ ～ニ 118 イ ₁ 、イ ₂ 119 イ ₁ 、イ ₂ 120 ハ ₁ ～ニ ₂ 204 イ 206 イ ₁ 、ロ					
計	1箇所	1,849.95						
自然観察教育林	瀬波 いこいの森	122.83	1236 か～な ₂ ----- 1235 い ₁ ～ろ、ほ～る ₁ 、わ 1236 い ₁ ～る ₃ 、る ₇ 、る ₉ ～る ₁₁ る ₁₃ ～わ ₅ 、ら ₄ ～け ----- 1235 は、に、る ₂ 、る ₃ 1236 る ₄ ～る ₆ 、る ₈ 、る ₁₂ 、 ら ₁ ～ら ₃ ----- 1235 イ ₁ ～イ ₃ 1236 イ、ロ ₂ 、ロ ₈ 、ロ ₉ 、 ハ ₁ ～ハ ₃	瀬波温泉を中心とした区域で、日本海に面した風光明媚な海岸林が美しい。地元市民や温泉客などの自然観察、散策等に利用されている。	育成単層林業 ----- 育成複層林業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：国 ・東屋 ----- 実施主体：新潟県 ・歩道 ----- 実施主体：村上市 ・歩道	国が実施する施設整備の計画なし	
	お幕場 いこいの森	174.44	1415 い、ろ ₂ 、は ₁ ～に ₁₃ 、ほ ₂ 、 り ₂ ～り ₅ 、り ₈ 1416 い ₂ 、い ₃ 、ろ ₂ 、は～に ₂ 、 と ₂ 、ち、ぬ ₂ 、ぬ ₃ 、わ ----- 1415 ろ ₁ 、ほ ₁ 、へ～り ₁ 、り ₆ 、 り ₇ 、り ₉ 1416 い ₁ 、ろ ₁ 、ほ～と ₁ 、り、 ぬ ₁ 、る、か	村上藩主が園遊、行楽に訪れた地といわれ、現在では林齢100年を超えるアカマツ天然生林が、自然の庭園を思わせるような景観を呈しており、市民の自然観察、散策等に利用されている。	育成複層林業 ----- 天然生林施業	既存の施設なし	〃	

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
自然観察 教育林	平林史跡 の森	53.35	1362 い ₁ 、い ₂ 、ほ ₂ ----- 1363 つ、ね 1364 ろ ₃ 、ろ ₄ ----- 1362 イ ₁ ～イ ₃ 1363 ロ 1364 イ	中世の典型的な土留築造の山城跡を中心とする区域で、現在でも館跡、物見山、のろし山、馬洗場、土塁等がほぼ原形どおり残っており、ハイキングコースとして利用されている。	育成複層林業 ----- 天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：村上市 ・歩道 ・展望台 ・休憩所	国が実施する施設整備の計画なし	
計	3箇所	350.62						
風景林	鈴ヶ滝	14.98	1134 に、ほ	高根川支流の鈴ヶ谷にある「鈴ヶ滝」周辺区域で、ブナ、ミズナラ等の天然生林に囲まれた高さ50mの絶壁から落ち込む滝は、水量も豊富で瀑風、轟音は壮観である。鈴ヶ滝には、吊り橋や歩道が整備されており、滝壺まで行くことが可能である。	天然生林施業	実施主体：村上市 ・歩道	国が実施する施設整備の計画なし	
計	1箇所	14.98						
森林スポーツ林	荒川 福祉の森	85.52	1302 ろ ₇ ----- 1302 ろ～ほ ₁ 、ほ ₆ 、ぬ ₂ 、る ₁ る ₃ 、る ₅ 、る ₆ 1303 ろ ₃ ～る ₅ ----- 1302 イ ₁ ～イ ₃ 、ハ 1303 ロ	荒川下流の左岸、下越森林管理署と村上支署の管理境界付近に位置し、この森林に介入している通称「梨の木池」を中心とした区域であり、森林散策、魚釣、ピクニック等に利用されている。	育成単層林業 ----- 育成複層林業 ----- 林地以外	実施主体：村上市 ・歩道 ・展望施設 ・休憩所 ・駐車場	国が実施する施設整備の計画なし	
計	1箇所	85.52						

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
野外スポーツ地域	胎内スポーツ林	189.26	39 ろ ₁ 40 ろ、は、り、ぬ ₁ 、わ～よ ₁ 、 つ ₁ 、つ ₂ 、な	胎内市東部に位置し、 良質で豊富な雪に恵まれたスキー場である。起伏に富んだ地形は、初級者から上級者まで楽しむことができる。 また、広葉樹林の天然生林に囲まれた胎内平野営場は、キャンプ、林間学校等野外活動に利用されている。	育成複層林業 間伐面積 2.21ha	実施主体：胎内市 ・コース ・ゲレンデ ・リフト ・休憩施設 ・野営場	国が実施する施設整備の計画なし	
	25 い ₁ 38 か ₁ 39 い ₁ 、い ₂ 、ろ ₂ 、ろ ₃ 、ほ、 と ₁ 、わ ₁ 、か ₁ 、よ ₁ 40 い、に、へ～ち、 ぬ ₂ ～る ₃ 、 よ ₂ ～そ ₄ 、ね ₁ 、ね ₃ 41 ほ 25 口、ハ		天然生林施業					
			39 イ ₁ ～ハ 40 イ ₂ ～ロ ₂ 、ニ ₂		林地以外			
ニノックススキー場		325.81	62 に～り、る ₁ 、る ₂ 、つ～ね ₂	新発田市東方の二王子岳山腹に位置し、良質で豊富な雪に恵まれたスキー場である。起伏に富んだ地形は、初級者から上級者まで楽しむことができる。	育成複層林業 間伐面積 8.48ha	実施主体：民間 ・コース ・ゲレンデ ・リフト ・休憩施設	国が実施する施設整備の計画なし	
			62 れ、そ、な ₁ ～ら ₂ 63 い ₂ 64 い～は、と～り 65 さ～ゆ 61 ニ		天然生林施業			
			62 イ、ハ ₂ 、ニ ₁ ～ホ、ト、 チ 63 イ 65 イ ₂ 、ロ ₂		林地以外			

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
	鳴海 森林公園	34.01	1174 は 1175 ろ ----- 1174 ロ ₅ ～ロ ₉	鳴海山の南東に位置し、ブナ、ミズナラ等の天然生林内に囲まれた区域である。優れた自然環境とふれあうことができ、森林空間を利用したキャンプ、ピクニック、自然探勝等に利用されている。	天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：村上市 ・歩道 ・野営場 ・駐車場	国が実施する施設整備の計画なし	
計	3箇所	549.07						
その他 (レクリエーションの施設敷)	胎内川ダム展望台	0.58	30 イ ₃ 、イ ₄	単独レクリエーション施設	林地以外	実施主体：胎内市 ・歩道	国が実施する施設整備の計画なし	
	田貝山避難小屋	0.01	69 イ	〃	林地以外	実施主体：新発田市 ・避難小屋	〃	
	赤谷園地	0.10	92 ハ	〃	林地以外	実施主体：新発田市 ・駐車場	〃	
	二王子岳避難小屋	0.01	34 イ	〃	林地以外	実施主体：新潟県 ・避難小屋	〃	
	門内岳避難小屋	0.04	33 イ ₁ 、イ ₂ 、ホ ₂	単独レクリエーション施設	林地以外 (飯豊山周辺森林生態系保護地域内)	実施主体：国 ・避難小屋 実施主体：新潟県 ・避難小屋 実施主体：胎内市 ・避難小屋	〃	

種 類	名 称	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考	
その他 (レクリエーションの森施設敷)	頼母木 避難小屋	0.02	33 ホ ₅	単独レクリエーション施設	林地以外 (飯豊山周辺 森林生態系保護地域内)	実施主体：新潟県 ・避難小屋	国が実施する施設整備の計画なし		
	足野松 野営場	2.56	33 る ₁₀	〃	天然生林施業 (飯豊山周辺 森林生態系保護地域内)	既存の施設なし	〃		
	湯ノ平 温泉小屋	0.15	93 イ	〃	林地以外 (飯豊山周辺 森林生態系保護地域内)	実施主体：新潟県 ・野営場 ・休憩施設	〃		
	梅花皮岳 避難小屋	0.04	94 イ ₁	〃	林地以外 (飯豊山周辺 森林生態系保護地域内)	実施主体：山形県 ・避難小屋	〃		
	御西岳 避難小屋	0.03	94 イ ₂	〃	林地以外 (飯豊山周辺 森林生態系保護地域内)	実施主体：新潟県 ・避難小屋	〃		
	宝珠山麓 森林公園	4.73	121 い〜ろ ₂	〃	育成複層林業	林地以外	実施主体：阿賀野市 ・歩道 ・園地 ・野営場 ・遊水池	〃	
			----- 121 ホ						
三面ダム 展望所	0.10	1152 イ	〃	林地以外	実施主体：新潟県 ・展望所 実施主体：村上市 ・公衆トイレ	〃			

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
	三野 面 野 営場	0.10	1208 イ	単独レクリエーション施設	林地以外 (朝日山地森林生態系保護地域内)	実施主体：新潟県 ・避難小屋 ・衛生施設 実施主体：村上市 ・野営場	国が実施する施設整備の計画なし	
	大熊 避難小屋	0.03	1324 イ	〃	林地以外	実施主体：関川村 ・避難小屋	〃	
	えぶりさし 杵 差 避難小屋	0.01	1326 イ	〃	林地以外	実施主体：新潟県 ・避難小屋	〃	
	梁山泊 避難小屋	0.01	1336 イ	〃	林地以外	実施主体：関川村 ・避難小屋	〃	
	ろくじん 道陸神峯 避難小屋	0.02	1108 イ	〃	林地以外 (朝日山地森林生態系保護地域内)	実施主体：村上市 ・避難小屋	〃	
	猿田川 野 営場	11.88	1166 い ₂ 1178 い ₂ ----- 1166 イ ₁ ～イ ₁₁	〃	天然生林施業 ----- 林地以外	実施主体：村上市 ・歩道 ・野営場	〃	
	切合 避難小屋	0.01	243 イ ₁	単独レクリエーション施設	林地以外 (飯豊山周辺森林生態系保護地域内)	実施主体：喜多方市 ・避難小屋	〃	
	三国岳 避難小屋	0.01	243 イ ₂	〃	林地以外 (飯豊山周辺森林生態系保護地域内)	実施主体：喜多方市 ・避難小屋	〃	

種類	名称	面積 (ha)	位置 (林小班)	選定理由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
	茶 銭 平 野 営 場	0.61	279 へ ₃	〃	天然生林施業	実施主体：阿賀町 ・避難小屋	国が実施する施設整備の計画なし	
	白 山 避 難 小 屋	0.01	323 と ₂	〃	天然生林施業	実施主体：五泉市 ・避難小屋	〃	
	三川オート キャンプ場	5.64	223 ニ ₁ 、ニ ₂	〃	林地以外	実施主体：阿賀町 ・歩道 ・野営場 ・植物園	〃	
計	23箇所	26.70						
合計	32箇所	2,876.85						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年月	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
施業指標林	複層林施業指標林	昭和63年8月	0.99	287 ろ ₂	林業技術の定着及び普及並びに充実を図る。
施業指標林計			0.99		
次代検定林	一般次代検定林	昭和58年5月	1.62	1402 ち	(東前局7号)
	地域差検定林	昭和50年10月	1.53	1373 ち ₃	(東前局2号)
	〃	昭和58年10月	1.34	223 よ ₃	(東前局8号)
	抵抗性検定林	昭和63年10月	1.60	1031 か ₅ ~ か ₆	(東耐雪前橋営3号)
	〃	平成5年5月	0.99	1336 よ ₂ ~ よ ₄	(東耐雪前橋営5号)
	〃	平成元年10月	0.96	47 る ₄	(東耐雪前橋営4号)
	〃	昭和59年10月	2.10	223 わ ₃	(東耐雪前橋営1号)
	集団林検定林	平成11年10月	0.39	1030 ろ ₂	(東前局10号)
	〃	平成18年5月	0.34	1048 な ₂ ~ な ₇	(東前局11号)
次代検定林計			10.87		
遺伝子保存林	スギ遺伝子保存林	昭和47年4月	2.15	102 ぬ ₁	
	〃	昭和45年4月	2.00	1030 へ ₂	
	〃	昭和45年11月	4.00	1030 る ₃	
	〃	昭和45年4月	2.00	1390 ろ ₃	
遺伝子保存林計			10.15		
母樹林	赤谷天スギ	昭和48年4月	3.00	102 ゆ	特別母樹林
	三川天スギ	昭和48年4月	3.18	221 ろ ₃	〃
母樹林計			6.18		
溪畔保全プロジェクト林	(設定河川等) 阿賀野川(広谷川)	平成27年3月	(設定延長) (m) 2,000	273-I い~ぬ ₂ 、る、 な~い ₂ 、い ₅	

(2) フィールドの提供

対象地（林小班）	設 定 の 目 的	備 考
18つ～み	ふれあいの森 （椽平さくらの里）	設 定：平成12年3月 実施主体：加治川さくらの里づくりの会 面 積：72.57ha
1236い ₁ ～ま	ふれあいの森 （瀬波夕日の森）	設 定：平成12年3月 実施主体：村上市 面 積：76.49ha
1161は ₁ ～は ₁₁ 、ハ ₃ 1162い ₁ ～い ₄	社会貢献の森 （さけの森林）	設 定：平成12年10月 実施主体：さけの森林づくり推進協議会 面 積：282.38ha
117イ ₁ 、イ ₂	ふれあいの森 （五頭みんなの森）	設 定：平成27年4月 実施主体：一般市民団体 ブナ友の会 面 積：8.94ha
204く ₁ 、く ₂ 、イ 206い～は ₂ 、 に ₂ 、ち ₃ 、 ち ₅ 、ち ₆ 、 ぬ ₁ 、ぬ ₂ 、イ ₁	ふれあいの森 （中ノ沢溪谷・ 天然スギの森）	設 定：令和1年5月 実施主体：特定非営利活動法人 お山の森の木の学校 面 積：21.78ha

(3) 森林共同施業団地

名 称	対象地 （林小班）	面 積 （ ha ）	協定の概要
村上市笹平地区 森林共同施業団地	民		205 民有林と国有林を連結した路網の整備と相互利用による低コストで効率的な間伐等の実施 設 定 年 月：平成25年2月 協 定 名：村上市笹平地区森林整備推進協定 協 定 期 間：令和2年4月～令和7年3月 協定相手方： ・下越流域森林・林業活性化センター ・(有)阿部林業工務店
	国	1041全 1048全 1049全	
関川村内須川地区 森林共同施業団地	民		213 民有林と国有林を連結した路網の整備と相互利用による低コストで効率的な間伐等の実施 設 定 年 月：平成27年3月 協 定 名：関川村内須川地区森林整備推進協定 協 定 期 間：令和2年4月～令和7年3月 協定相手方： ・下越流域森林・林業活性化センター ・公益社団法人 新潟県農林公社 ・関川村森林組合
	国	1311全 1312全	
合 計	民		418
	国		
			2箇所

(4) その他

レクリエーションの森以外の森林空間利用タイプの施業方法

位 置	面 積 (ha)	施業方法
1035 ろ1、る1、む1～む3	3.71	育成単層林 施 業
1 は2、は3 18 れ、そ 39 に 70 い～に 202 は 322 き～め 1035 い、に～り1、ぬ、わ1、わ2、つ1～な、う 1236 く 1313 も1 1402 わ、よ、た 1403 い	65.03	育成複層林 施 業
1 い1～い4、は1、は4～り 32 た～ね 39 は、と2、わ2、か2 40 ね2、ね4 56 に 70 と2 71 る1～わ 202 い、ろ、に 322 さ1～さ3 1035 ろ2、は1、り2、る2、そ、ら 1229 は、に 1230 い～に 1313 ひ1 1344 ろ 1402 る1、る2、か、れ、そ 1403 ろ	554.93	天 然 生 林 施 業
18 イ 32 イ、ロ、ニ1、ニ2、ト1～ト5 40 イ1、ニ1、ニ3、ニ4 70 ハ 1035 イ1～イ3 1229 ロ 1230 イ、ロ 1236 ロ1、ロ3～ロ7、ロ10、ロ11 1402 ロ 1415 イ	20.85	林 地 以 外
計	644.52	

(注) (1)、(2)の箇所を除く。

附 属 参 考 资 料

(1) 国有林野の現況

① 担当区別の区域及び面積

(単位：面積ha)

担当区	関 係 市 町 村	要 存 置 林 野		不要存 置林野 面 積	官 行 造林地 面 積
		面 積	関 係 林 班		
中 条	胎 内 市	725.38	1、7、10～14	0.62	—
	新 発 田 市	4,017.22	15～24、46～60、500 イ ₄	—	—
	小 計	4,742.60		0.62	—
黒 川	胎 内 市	11,668.25	4～6、8、9、25～45、 500 イ ₁ 、イ ₂	—	—
	小 計	11,668.25		—	—
川 東	新 発 田 市	17,648.44	61～104、500 イ ₃	0.42	43.21
	小 計	17,648.44		0.42	43.21
村 杉	阿 賀 野 市	3,237.87	105～121	0.31	—
	小 計	3,237.87		0.31	—
三 川	阿 賀 町	6,725.06	201～227、284、285	2.82	330.56
	小 計	6,725.06		2.82	330.56
日 出 谷	阿 賀 町	12,385.13	228～254、324、325	—	30.52
	小 計	12,385.13		—	30.52
豊 川	阿 賀 町	12,083.32	255～283、298～302	—	293.27
	小 計	12,083.32		—	293.27
村 松	五 泉 市	11,226.40	286～297、303～315、320～323	—	127.16
	小 計	11,226.40		—	127.16
計		79,717.07		4.17	824.72

(注) 欠林班

2～3、122～200、316～319

(単位：面積ha)

担当区	関 係 市 町 村	要 存 置 林 野		不要存 置林野 面 積	官 行 造林地 面 積
		面 積	関 係 林 班		
村 上	村 上 市	5,502.77	1001、1003～1019、1021～1027、 1029～1032、1235、1236、 1362～1366、1409～1416、 1500 口 ₁ 、口 ₃	0.75	30.86
	小 計	5,502.77		0.75	30.86
館 腰	村 上 市	33,471.10	1033～1121、1144～1213、 1500 口 ₅	—	—
	小 計	33,471.10		—	—
塩 野 町	村 上 市	6,818.31	1122～1143、1214～1230	—	148.26
	小 計	6,818.31		—	148.26
関 谷	村 上 市	798.31	1302～1307	1.05	—
	関 川 村	10,449.29	1308～1313、1315～1361、 1417、1418、1425、 1500 イ、口 ₂ 、口 ₄	—	—
	小 計	11,247.60		1.05	—
女 川	関 川 村	9,287.44	1367～1408、1419～1424	—	—
	小 計	9,287.44		—	—
計		66,327.22		1.80	179.12
合 計		146,044.29		5.97	1,003.84

(注) 欠林班

1002、1020、1028、1231～1234、 1237～1301、1314、1426～1499

② 保安林、自然公園等の面積

(単位：ha)

種 類	細 分	面 積	備 考
保 安 林	水 源 かん 養	122,008.91	
	土 砂 流 出 防 備	14,305.48	
	土 砂 崩 壊 防 備	147.77	
	飛 砂 防 備	34.15	
	防 風	258.53	
	干 害 防 備	160.08	
	な だ れ 防 止	63.07	
	保 健	1,513.94	
	風 致	0.31	
		計	136,249.52
砂 防 指 定 地		267.76	
国 立 公 園	特 別 保 護 地 区	10,807.31	
	第 1 種 特 別 地 域	14,624.90	
	第 2 種 特 別 地 域	4,088.53	
	第 3 種 特 別 地 域	14,265.75	
	普 通 地 区	2,116.76	
	計	45,903.25	
県 立 自 然 公 園	第 1 種 特 別 地 域	237.81	
	第 2 種 特 別 地 域	7,663.21	
	第 3 種 特 別 地 域	14,000.24	
	普 通 地 区	3,794.49	
	計	25,695.75	
県 自 然 環 境 保 全 地 域	特 別 地 区	627.99	
	普 通 地 域	89.50	
	計	717.49	
鳥 獣 保 護 区	特 別 保 護 地 区	4,050.20	
	普 通 地 区	21,589.42	
	計	25,639.62	
史 跡 名 勝 天 然 記 念 物		174.49	
特 別 母 樹 林		6.18	

(注) 保安林の「計」欄は保安林種ごとの重複関係を除く面積を計上した。

(2) 機能類型別の国有林野の現況

(単位：面積 ha、材積 m)

機能類型 林種		山地災害防止タイプ						快適環境形成タイプ		水源かん養タイプ		自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		合計	
		土砂流出崩壊防備		気象害防備		計											
		面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積		
人工林	育成単層林	181.94	50,495	—	—	181.94	50,495	12.72	2,055	10,649.67	2,823,869	29.92	13,996	383.95	88,410	11,258.20	2,978,825
	育成複層林	69.08	16,746	—	—	69.08	16,746	3.77	1,285	739.38	236,489	5.68	1,874	62.13	14,584	880.04	270,978
	小計	251.02	67,241	—	—	251.02	67,241	16.49	3,340	11,389.05	3,060,358	35.60	15,870	446.08	102,994	12,138.24	3,249,803
天然林	育成単層林	—	—	—	—	—	—	—	—	527.58	96,729	—	—	—	—	527.58	96,729
	育成複層林	168.06	21,934	—	—	168.06	21,934	67.09	7,303	2,642.35	468,927	3.52	693	135.32	16,041	3,016.34	514,898
	天然生林	14,472.49	1,254,488	—	—	14,472.49	1,254,488	9.91	1,156	20,261.67	2,696,531	47,782.47	4,156,120	2,724.94	329,400	85,251.48	8,437,695
	小計	14,640.55	1,276,422	—	—	14,640.55	1,276,422	77.00	8,459	23,431.60	3,262,187	47,785.99	4,156,813	2,860.26	345,441	88,795.40	9,049,322
無立木地		—	—	—	—	—	—	—	—	43.44	—	—	—	—	—	43.44	—
竹林		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
林地計		14,891.57	1,343,663	—	—	14,891.57	1,343,663	93.49	11,799	34,864.09	6,322,545	47,821.59	4,172,683	3,306.34	448,435	100,977.08	12,299,125
林地以外		4,250.64	22,149	—	—	4,250.64	22,149	0.63	—	1,823.38	3,860	38,714.15	128,095	278.06	407	< 0.35 > 45,067.21	154,511
合計		19,142.21	1,365,812	—	—	19,142.21	1,365,812	94.12	11,799	36,687.47	6,326,405	86,535.74	4,300,778	3,584.40	448,842	< 0.35 > 146,044.29	12,453,636

注 < > は機能類型区分外で内書き。

(3) 林道等の現況

(単位：km)

区 分	林 道			林業専用道
	自動車道	軽 車 道	合 計	
延 長	287.8	7.9	295.7	12.3

(4) 収穫予想表

32ページ以降に示すとおりである。

森林調査簿の地位級と収穫予想表の地位との対比

収 穫 予 想 表 の 地 位	森 林 調 査 簿 の 地 位 級		
	ス ギ	ア カ マ ツ	その他N・L
1	12以上	9以上	3
2	9～11	7～8	2
3	8以下	6以下	1

(5) 地元施設等の現況

(単位：ha)

区 分	分収造林契 約に基づく 分 収 林	分収育林契 約に基づく 分 収 林	共 用 林 野			
			普 通	薪 炭	放 牧	合 計
面 積	474.98	79.24	5,589.19	—	—	5,589.19

貸 地					
植 樹 用 地	農 耕 用 地	鉱 業 用 地	道 路 用 地	水 路 用 地	電 気 事 業 用 地
1.09	2.87	0.64	176.82	10.52	150.38

貸 地					
温 鉱 泉 用 地	学 校 用 地	採 草 放 牧 地	建 物 用 地	そ の 他 貸 地	合 計
0.02	—	55.70	3.70	224.00	625.74

収穫予想表

樹種：針葉樹

齡 級	地 位 1				地 位 2				地 位 3				林 齡 年
	主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				
	1ha当り				1ha当り				1ha当り				
幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	成 長 率 %	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	成 長 率 %	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	成 長 率 %		
I													5
II													10
III	10		0.7		7		0.5		4		0.3		15
IV	20	2.0	1.0	14.9	15	1.6	0.8	16.5	9	1.0	0.5	17.6	20
V	32	2.4	1.3	9.9	24	1.8	1.0	9.9	16	1.4	0.6	12.2	25
VI	45	2.6	1.5	7.1	34	2.0	1.1	7.2	24	1.6	0.8	8.4	30
VII	58	2.6	1.7	5.2	44	2.0	1.3	5.3	32	1.6	0.9	5.9	35
VIII	72	2.8	1.8	4.4	55	2.2	1.4	4.6	41	1.8	1.0	5.1	40
IX	86	2.8	1.9	3.6	66	2.2	1.5	3.7	50	1.8	1.1	4.0	45
X	99	2.6	2.0	2.9	76	2.0	1.5	2.9	58	1.6	1.2	3.0	50
X I	111	2.4	2.3	2.3	86	2.0	1.6	2.5	66	1.6	1.2	2.6	55
X II	123	2.4	2.1	2.1	96	2.0	1.6	2.2	74	1.6	1.2	2.3	60
X III	134	2.2	1.7	1.7	105	1.8	1.6	1.8	81	1.4	1.2	1.8	65
X IV	145	2.2	1.6	1.6	114	1.8	1.6	1.7	88	1.4	1.3	1.7	70
X V	155	2.0	1.3	1.3	123	1.8	1.6	1.5	95	1.4	1.3	1.5	75
X VI	165	2.0	2.1	1.3	132	1.8	1.7	1.4	102	1.4	1.3	1.4	80
X VII	174	1.8	1.1	1.1	140	1.6	1.7	1.2	108	1.2	1.3	1.1	85
X VIII	183	1.8	2.0	1.0	148	1.6	1.6	1.1	114	1.2	1.3	1.1	90
X IX	191	1.6	0.9	0.9	155	1.4	1.6	0.9	120	1.2	1.3	1.0	95
X X	199	1.6	2.0	0.8	162	1.4	1.6	0.9	126	1.2	1.3	1.0	100

※成長率はライブニツツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種：広葉樹

齡 級	地 位 1				地 位 2				地 位 3				林 齡 年
	主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %				成 長 率 %				成 長 率 %	
幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹 材 積 m ³		連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³	幹 材 積 m ³		連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³			
I													5
II													10
III	20		1.3		12		0.8		5		0.3		15
IV	31	2.2	1.6	9.2	20	1.6	1.0	10.8	9	0.8	0.5	12.5	20
V	44	2.6	1.8	7.3	29	1.8	1.2	7.7	14	1.0	0.6	9.2	25
VI	57	2.6	1.9	5.3	39	2.0	1.3	6.1	21	1.4	0.7	8.4	30
VII	70	2.6	2.0	4.2	50	2.2	1.4	5.1	30	1.8	0.9	7.4	35
VIII	83	2.6	2.1	3.5	61	2.2	1.5	4.1	40	2.0	1.0	5.9	40
IX	96	2.6	2.1	3.0	73	2.4	1.6	3.7	51	2.2	1.1	5.0	45
X	109	2.6	2.1	2.6	85	2.4	1.7	3.1	62	2.2	1.2	4.0	50
X I	121	2.4	2.2	2.1	96	2.2	1.7	2.5	72	2.0	1.3	3.0	55
X II	133	2.4	2.2	1.9	107	2.2	1.8	2.2	82	2.0	1.4	2.6	60
X III	143	2.0	2.2	1.5	116	1.8	1.8	1.6	90	1.6	1.4	1.9	65
X IV	153	2.0	2.2	1.4	125	1.8	1.8	1.5	98	1.6	1.4	1.7	70
X V	161	1.6	2.2	1.0	132	1.4	1.8	1.1	104	1.2	1.4	1.2	75
X VI	169	1.6	2.1	1.0	139	1.4	1.8	1.0	110	1.2	1.4	1.1	80
X VII	176	1.4	2.1	0.8	145	1.2	1.7	0.8	115	1.0	1.4	0.9	85
X VIII	183	1.4	2.0	0.8	151	1.2	1.7	0.8	120	1.0	1.3	0.9	90
X IX	189	1.2	2.0	0.6	156	1.0	1.7	0.7	124	0.8	1.3	0.7	95
X X	194	1.0	2.0	0.5	160	0.8	1.6	0.5	127	0.6	1.3	0.5	100
X X I	199	1.0	1.9	0.5	164	0.8	1.6	0.5	130	0.6	1.2	0.5	105
X X II	204	1.0	1.9	0.5	168	0.8	1.5	0.5	133	0.6	1.2	0.5	110
X X III	209	1.0	1.8	0.5	172	0.8	1.5	0.5	136	0.6	1.2	0.4	115
X X IV	213	0.8	1.8	0.4	175	0.6	1.5	0.3	138	0.4	1.2	0.3	120

※成長率はライブニッツ式を用いて算出

収穫予想表

樹種：広葉樹（ぼう芽）

齡 級	地 位 1				地 位 2				地 位 3				林 齡 年
	主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				主 副 林 木 合 計				
	1ha当り			成 長 率 %				成 長 率 %				成 長 率 %	
	幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		幹 材 積 m ³	連 年 成 長 量 m ³	平 均 成 長 量 m ³		
I												5	
II												10	
III	17		1.1		13		0.9		9		0.6	15	
IV	29	2.4		11.3	22	1.8		11.1	15	1.2		10.8	20
V	42	2.6		7.7	32	2.0		7.8	22	1.4		8.0	25
VI	55	2.6		5.5	42	2.0		5.6	29	1.4		5.7	30
VII	66	2.2		3.7	51	1.8		4.0	37	1.6		5.0	35
VIII	76	2.0		2.9	59	1.6		3.0	44	1.4		3.5	40
IX	84	1.6		2.0	65	1.2		2.0	49	1.0		2.2	45
X	90	1.2		1.4	70	1.0		1.5	53	0.8		1.6	50
				1.8									

※成長率はライプニッツ式を用いて算出